

「気をつけて」と気持ちを込めて

大日寺でお接待

10月25日(土)市連合婦人会は「地域ふれあい・おもてなし子育て事業」の一環として、野市町の大日寺に参拝する人をお接待しようと「お接待袋」を配りました。

袋の中には押し花のしおりや鈴など、子どもたちと一緒に手作りしたものを入れました。参拝客は思わぬプレゼントにびっくり。「うれしい、ありがとう」と、喜んでいました。子どもたちは「気をつけて回ってください」という気持ちで渡した」と袋を手に、恥ずかしがりながらも声をかけ、渡していました。



花じゅうたんを敷きつめて

城山公園懸崖菊 開園式

10月29日(水)香我美町山北にある城山公園で開園式が行われ、2月から整備してきた懸崖菊がお披露目されました。今年は昨年より倍、1万2千本の菊とケイトウの花が植えられた公園内は、花を見てほしいポイントに「絶景ポイント」と看板を立てたり、ゆっくり座って見てもらえるようイスの整備をしました。

「地域の方の支えがあって今年も開催できた、ぜひマナーを守って鑑賞してほしい」と長崎清会長。休日、平日問わず、たくさんの方が公園を訪れていました。



プチプチ音の秘密

香我美小学校 南極の氷



10月23日(木)香我美小学校に南極の氷が届けられました。この氷は、自衛隊高知地方協力部隊が海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」で南極から持ち帰ったもので、毎年県内2小学校に提供しています。

届けられた氷は、3年生の授業で環境学習の教材として使用し、約3億年前に閉じこめられた空気の「プチプチ」という音を聞いたり、味見をしたりしました。児童たちは「しもやけになる！甘くておいしい」などと配られた氷にかぶりついていました。

感謝の心に笑顔があふれる

あぐりのさと10周年感謝祭



10月25日・26日両日、香我美町口西川の地場産品直販所「あぐりのさと」で感謝祭が行われました。

今年10周年を迎え「きてくれた人をもてなしたい」とイノシ汁を来場者に振る舞いました。イベントでは農作物はもちろん、あめごの塩焼きや名物となったつきたもちなどを販売しました。「10年間続けてこられたのは、みんなの力のおかげ。山里にもにぎやかな声が響くよう、今後も続けていきたい」と運営する柳本章会長は話されていました。

第43回夜須町民運動会



10月26日(日) あいにく雨模様の天気でしたが、グラウンドや体育館での開催に声援が響き渡りました。

吉川地区運動会

